

平成 29 年度 海上の森保全活用事業の取組状況について

「あいち海上の森条例」（平成 18 年 4 月 1 日施行）に基づき、海上の森を愛知万博の理念や成果を継承する「愛知万博記念の森」と位置付け、将来にわたり保全活用するとともに、県民参加のもとに森林や里山に関する学習と交流の拠点として、里山保全活動、森林環境教育を始め、情報発信や人材育成などの幅広い取り組みを展開しました。

■主な取組

1 愛知万博記念の森としての保全のための事業

| 事業項目 | | 取組状況 |
|-----------|---|--|
| 里山保全事業 | 耕地管理 | 体験学習プログラム「里と森の教室」で使用する農地の適切な維持管理のための委託業務 0.70ha |
| 森林の維持管理事業 | 林道維持管理工事 | 10月の台風等による林道被害の復旧 |
| | 巡視の励行 | 散策者の安全確保等のため、落枝除去・歩道等の点検と巡視 |
| 事業用地維持費 | 事業用地の適正な管理を図るため、業者による草刈等を実施（歩道等草刈 0.26ha、農地草刈 0.87ha） | |
| 自然環境調査事業 | 湿地調査 | 海上の森の湿地環境を把握し、その結果を湿地の保全に役立てるため水質、植物相を委託により調査 |
| | 希少動物の生息状況調査 | ムササビ及びホトケドジョウが生育する里山環境を維持保全するための基礎とするため、生息状況を調査 |
| | 猛禽類の生息状況調査 | 里山環境を維持保全するための基礎とするため、オオタカ・ハチクマ等の生息状況を調査 |
| | 調査報告書 | 調査結果を海上の森調査報告第 7 号としてとりまとめ |

2 森林や里山に関する学習と交流のための事業

(1) 体験学習・多様な主体との連携

| 事業項目 | 取組状況 | | | | | |
|--------------------|----------------------|--|------------|------------|-----|-----|
| | 行事名等 | 定員 (人) | 参加数 (人) | 参加率 (%) | | |
| 体験学習の実施(体験学習プログラム) | 里と森の教室 | 畑作、稲作体験 | 9回セット | 50 | 72 | 144 |
| | 調査学習会 | 初夏の海上の森(花、虫、鳥) | | 20 | 16 | 80 |
| | | 海上の森のキノコ | | 30 | 33 | 110 |
| | | 海上の森の水生生物 | | 20 | 17 | 85 |
| | | 計 | | 70 | 66 | 94 |
| | 森の楽校 | 遊歩施設・幼児体験フィールドを活用した森林環境教育(2回) | | 120 | 126 | 105 |
| 計 | | | 240 | 261 | 109 | |
| 多様な主体の参加の促進 | 県民や県民参加組織との連携 | 海上の森の会との連携 サポーター制度 39名の登録 | | | | |
| | 企業との連携 | 29年度活動した企業6社 豊田自動織機、トーマツ、伊藤園、カルビー、CKD、TB エンジニアリング 森林整備面積:3.09ha | | | | |
| | 全国の里山保全活動や施設との連携 | あいち自然環境団体・施設連絡協議会(あいち自然ネット) との情報交換(3回) | | | | |
| | 大学・小中学校・官庁・市民団体等との連携 | <講義・実習> 名古屋大学、愛知工業大学、名古屋産業大学 <団体・環境教育> 瀬戸市、幡山東小学校、はちまん幼稚園、瀬戸北保育園、 永和児童館、韓国森林アカデミー財団 <調査> 海上の森モニタリングサイト1000調査、愛知工業大学、愛 知学院大学、名古屋工業大学、なごや生物多様性保全活動 協議会 | | | | |

(2) 人材育成

| 事業 | 項目 | 内容 |
|---------------|---------------|--|
| 海上の森 アカデミー | 講座及び実施期間 | 森の保育者養成コース 5/20~6/17 5日間 森女養成コース 10/21~11/19 6日間 里山暮らしコース 11/23~12/7 5日間 基礎講座 2/25~3/11 3日間 |
| | 場 所 | あいち海上の森センター研修室・海上の森 |
| | 修了者数/ 受講者数 | 森の保育者養成コース7人/10人 森女養成コース9人/10人 里山暮らしコース9人/10人 |
| ミニセミナー | 開催日数 | 4/22~3/24 計11回 2月末現在延べ232名 |

3 海上の森の取組や成果の普及・情報発信

| 事業項目 | 取組状況 |
|-------------------|--|
| 学習プログラムの作成・提供 | 学習教材「自然観察ガイドブック」を有償頒布 |
| 自然環境情報等の収集整理・情報発信 | <ul style="list-style-type: none"> ・海上の森の自然環境情報の収集・展示 ・インターネット、SNSでの情報発信 ・「ムーアカデミー通信」の発行 3回 ・「海上の森調査報告書第7号」の発刊 <p style="text-align: right;">書籍の購入</p> |

4 センターの整備と運営

| 事業項目 | 取組状況 |
|------------|--|
| センターの管理・運営 | <p>施設修繕、清掃・警備、施設管理・点検、機器リース、廃棄物処理、企画調整、樹木管理など</p> <p>○施設利用者数（平成30年2月末現在） あいち海上の森センター 15,769人（累計 245,381人） 有料施設利用件数 工作室 6件 研修室 3件 幼児森林体験フィールド 22回、779人</p> <p>○スタンプラリーの実施（平成30年2月末現在） 77名（H19.10.20から 累計1,546人）</p> |
| 海上の森運営協議会 | <p>2回（平成29年9月12日、平成30年3月14日）開催</p> <p>○平成29年度海上の森保全活用事業について ○平成30年度海上の森保全活用事業の実施計画 ○海上の森保全活用計画2025の進捗管理 ○海上の森センター管理運営のあり方</p> |